

go a long way

～大いに役立つ・効果がある～

欧州で、新型コロナウイルスの感染が再拡大しています。夜間の外出禁止令 (curfew) が出されたり、友人を自宅に呼ぶことを制限されたりしている地域も。こうした状況下での孤立を防ぐため、英国には、単身者や一人親の家庭を対象に、特定の1世帯との交流や家への滞在を可能にするサポート・バブル (支援の安全圏) という制度があります。bubble といえば bubble economy (バブル経済) が想起されますが、コロナ禍の文脈では「接触しても構わない人のグループ」を指します。bubble の原意「泡、シャボン玉」から、「泡の中に包まれているような狭い範囲」というニュアンスに。もともとはニュージーランドがロックダウンのときに導入したものです。

Compassion and empathy **go a long way** in helping the vulnerable.

思いやりや共感力は弱い人々を助けるのにとっても効果があります。

go a long way は「大いに役立つ・効果がある、大きな役割を果たす」というフレーズです。「長い道のりを歩む・長持ちする」→「効果がある」となります。

sympathy は「同情」、に似た empathy は「共感 (力)」で、他者の気持ちを理解して相手に寄り添うこと。

vulnerable は「傷つきやすい」。弱くてすぐにやられてしまうイメージです。the+形容詞は「人」を表しますから the vulnerable で「弱者」となります。

Support bubbles **go a long way** in encouraging people who have no friends and family.

サポートバブルは、友達や家族がいない人々を励ますのに大いに役立ちます。

この例文も同様の用法。bubble はコロナの文脈では We can't bubble with a friend. (友達と接触できない・会えない) のように動詞としても使われます。

Space exploration has **come a long way**.

宇宙開発はここまで進歩しました。

go の代わりに come を使った come a long way (かなり進歩する、前進する) という言い回しもあります。紆余曲折あって長い道のりだったものの、ここまで来たというニュアンス。You've come a long way. は「以前と比べて成長・進歩したね」。I've come a long way. なら「いろいろあったけど頑張って、やっとここまで来た」といった気持ちを表すときに使えます。

単語・熟語チェック

compassion 思いやり

empathy 共感、共感力

vulnerable 弱い、傷つきやすい

encourage 励ます